



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「Step up 一歩前進」

国際会長主題 Together for a Better World「より良い世界のために、共に」

A・シャナヴァスカーン (インド)

アジア太平洋地域会長主題 Make a Great Impact「大きなインパクトを起こそう」

ジョウン・ウォン (香港)

西日本区理事主題 「つなげよう地域と世界、YMCA とともに」

鶴丹谷 剛 (神戸)

中部部長主題 「YMCAに笑顔。ワイズに笑顔。そしてみんなに笑顔。」

服部 庄三 (名古屋グランパス)

名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』

今月の聖句

神に従う人は七度倒れても起き上がる。神に逆らう者は災難に遭えばつまずく。

(箴言 24章 14節)

強調月間 Time Of Fast

◎ 2月第1例会

TOF (断食の時) のため食事はありません。

会場はYMCAです。

日程：2025年2月13日(木) 18:45~

会場：名古屋YMCA

担当：太田全哉君

開会宣言・点鐘：山村喜久会長

ワイズソング

5つの信条：山本直子君

プログラム：オークション

各自品物をいくつかお持ち下さい。

協議

連絡事項

閉会宣言・点鐘：山村喜久会長

◎ 2月第2例会

日程：2025年2月20日(木) 19:00~

会場：名古屋YMCA

◎ ピンクシャツデー

日程：2025年2月26日(水)

◎ 次期会長・主査研修会

日程：2025年3月1日(日)

会場：ホテルクライトン新大阪

◎ 3月第1例会

日程：2025年3月13日(木) 18:45~

会場：ラ・スースANN

◎ 3月第2例会

日程：2025年3月27日(木) 19:00~

会場：名古屋YMCA

※お年玉はがき当選番号【32・65・86】

切手と交換して例会時にお持ち下さい。

東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 1月末一在籍者 17名
(内広義会員 1名)
出席者 14名 (Make up0名)
出席率 87.5%

【特別ファンド】 仮集計
ニコボックス 22,500円
現在保有額 1,690,601円

1月第1例会報告

『奈良・名古屋・そして・・三重へ!』

三枝 隆氏

今回の講師はかつて我がクラブの担当主事もされた三枝隆氏。現在は名古屋YMCAから派遣されて、2024年4月にリニューアルした三重県立鈴鹿青少年センター（スズカト）のプログラムディレクターをされています。

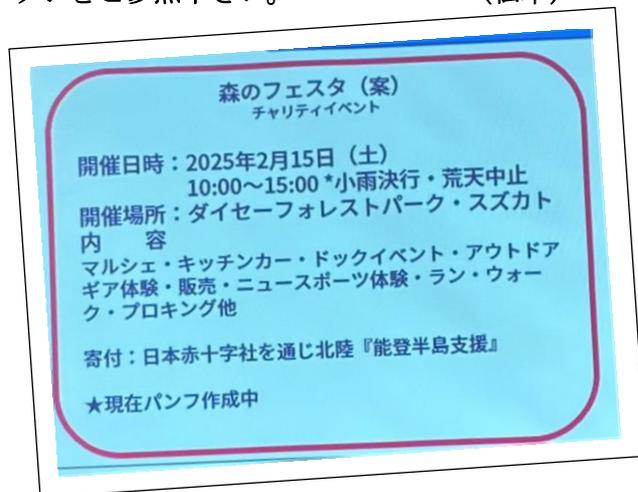


東京YMCA社会体育専門学校を卒業後、奈良YMCAに就職、その後名古屋YMCAでの勤務を経て、奈良YMCAに帰任。同氏のこうしたYMCAでの数々の働きが紹介されましたが、私は共に仕事をした日々を懐かしく思い出しました。



現在勤務されているスズカトはPFIにて創設されたダイセーフォレストパークの中にあり、スズカトでは、提供する様々の体験プログラムの責任者として活躍中で、そのために必要な様々の資格も習得されたそうです。施設は宿泊もできるということですから、ワイズメンズクラブの行事にも利用が可能のようです。

2月15日（土）には10:00～15:00「森のフェスタ」が行われるとのことです。関心のある方は是非スズカトをお訪ね下さい。（詳細は添付のチラシをご参照下さい。 （松本）



【参加者】浅野、太田、神谷、柴田、谷口、中江、永瀬、橋爪、松本、八木、山田、山村、山本、鷲尾、野村特別メネット、

1月第2例会報告

- 2月第1例会の件
担当：太田全哉君
2月例会はTOFで食事なし。
プログラムはオークション。各自オークションにかける品物を持参の事。
- 次期人事について、次期会長は神谷君、次期中部Yサ・ユース事業主査は山村君にお願いすることにした。
- 次々期西日本区事業主任について打診があったが、現状では引き受けられる状態では無いと判断した。
- 日本語学校支援の件について山村会長より校長と相談された内容について報告があった。3月に実施予定の在学学生を対象にした「川柳・俳句コンクール」にクラブより金賞1・銀賞2・東海クラブ賞5を提供することが提案された。詳細な手順については今後詰めることとし、当面予算3万円を予定し、実施が承認された。

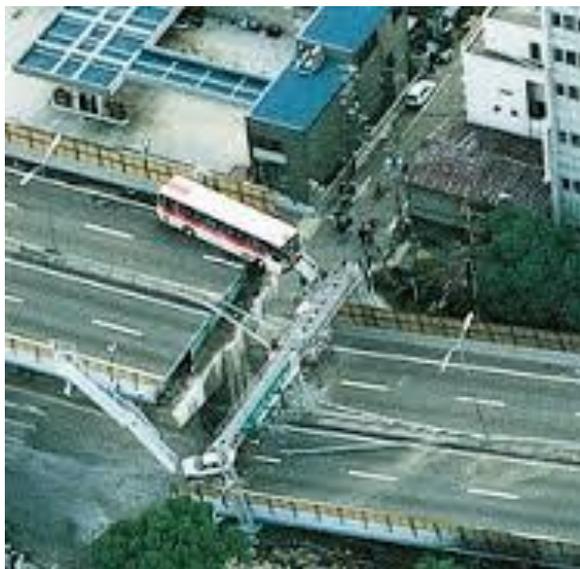
【参加者】浅野、柴田、谷口、松本、山村、鷲尾

阪神淡路大震災から30年 (防災対策について)

中江正典

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災から30年が経過しました。この大震災は、多くの命を奪い、都市インフラに甚大な被害をもたらしました。当時、私は兵庫県尼崎市に住んでおり、自宅も地震の影響を受けました。倒壊等はありませんでしたが、部屋の中は家具等の転倒、破損等がありました。会社の同僚の方においては、ご家族が亡くなられた方、自宅が倒壊、半壊された方もおりました。私はこの悲劇を教訓に、様々な防災対策の重要性を認識しました。しかしながら、その後、東日本大震災、直近では能登半島地震等が発生し、多くの方の命が奪われたことに、胸が締め付けられる思いです。

中部エリアにおいても、東海地震、東南海・南海地震が30年以内に発生する確率が80%以上と予想されています。そのような地震が発生すると名古屋地区でも甚大な被害が発生することが容易に推測されます。震災は他人事ではありません。東海地区にお住まいの方におかれましても、今一度防災に対する備えをしていただくことが重要かと思えます。どのような対策を考えておくべきかを考えてみたいと思います。

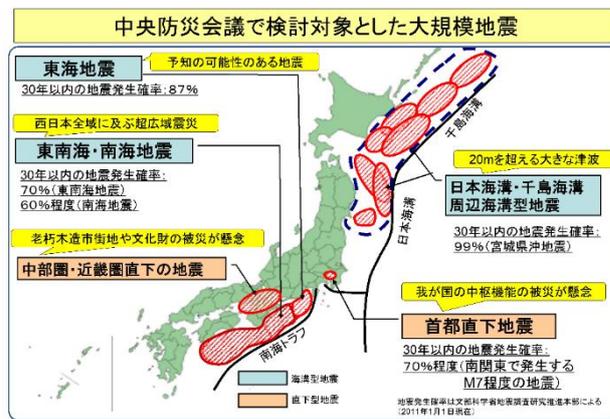


1. 大規模地震の発生予測

(1) 大規模地震の地域予測

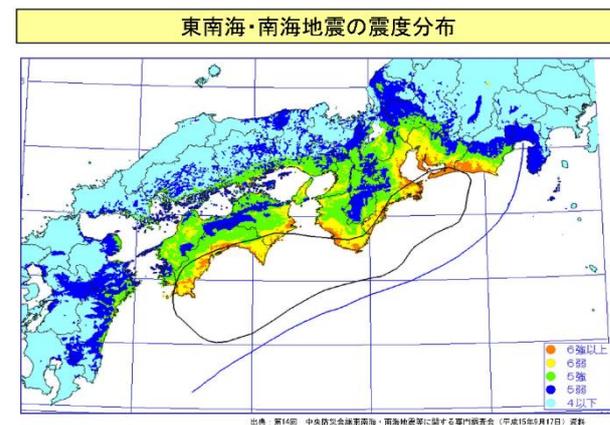
日本は地震が発生しやすい地域となっており、図1に示すように30年以内の大規模地震の発生確率が高くなった地域が多く存在します。

図1. 中央防災会議で検討対象とした大規模地震



(2) 東南海・南海沖地震の震度予測

東南海・南海沖地震では広範囲に渡り、地震が発生すると考えられており、最大震度7の地震が発生すると、名古屋地区でも震度6程度の揺れが発生するものと考えられています。津波も数mの発生が予測されています。



2. 地震に備えておくべき事項

(1) 家庭での対策

①家具の固定

大きな家具や家電製品は、転倒防止のために壁に固定しましょう。特に、寝室やリビングルームの家具はしっかりと固定することが重要です。

②非常用持ち出し袋の準備

地震発生時にすぐに持ち出せる非常用持ち出し

